



とやまの川の物語

第17回
全国地域映像コンクール



グランプリ
(第1位)

郷土学習教材〔映像作品 31分38秒〕

■ DVD

■ BD

■ インターネット動画

<http://www4.tkc.pref.toyama.jp/video/>



監修：米原 寛（越中史壇会会長）
ナレーション：久和恵実
車 吉章（ま〜る）
音楽：柴 徳昭
富山県映像センター職員

2019（令和元）年制作

制作：富山県教育委員会
富山県映像センター

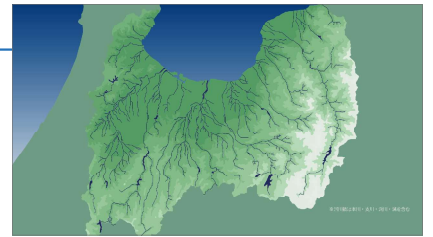
（富山県民生涯学習カレッジ 映像センター課）
TEL 076-441-8455 / FAX 076-441-5334



とやまの川の物語

Chapter① とやまの川のすがた

富山県は“7大河川”を中心に、300超の川が流れている“川の県”。特に県東部は、全国有数の急流河川。北アルプス・立山連峰を水源に、富山湾まで一気に駆け下りていく“滝のような川”である。



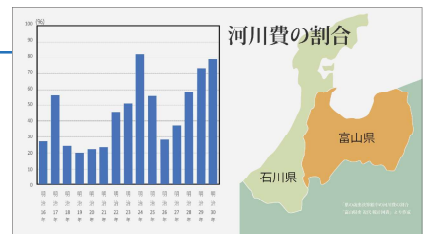
Chapter② 川と生きてきた人々

はるか旧石器時代から、人類が川と共に暮らしてきた跡が残っている。そして始まる稲作では川を生かし、やがて“米どころ”として越中の名が高まっていく。しかし、川はときに氾濫し、人々の暮らしを脅かしてきた。



Chapter③ 川を治める

本格的な治水が始まるのは、明治時代から。治水事業に注力するため、石川県から独立分県した富山県。オランダ人技師デ・レーケも招いて、川筋を変えるなどの大胆な工事の数々を、大勢の“人力”で行っていく。



Chapter④ 川の近代化

川の利用も加速する。水位調節や砂防、水力発電や灌漑など多機能をもつ、“ダム”が次々と建設される。さらには交通。近代的な乗り物や橋梁によって、県内に“横の流れ”が生まれる。工業化も進み、川と人々の関係は一変した。



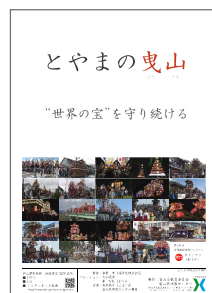
Chapter⑤ 川と生きるために

最近では落ち着いているかのように見える、富山県の河川。しかしながら、大水害を想定した取り組みが続いている。さらに人々は、川を未来に残していくための努力も続ける。



表面の写真は上から早月川、神通川、庄川・小矢部川河口。富山県各地にある川の映像は、ホームページ「とやまデジタル映像ライブラリー」にて視聴できます。

DVD・BDを貸出中
インターネット公開中



2018 (平成30) 年制作

第16回
全国地域映像コンクール

受賞 グランプリ
(第1位)



2017 (平成29) 年制作

第15回
全国地域映像コンクール

受賞 優秀賞
(第2位)

富山県映像センター
(富山県生涯学習カレッジ 映像センター課)

〒930-0096 富山県富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館3階
TEL 076-441-8455/FAX 076-441-5334
<http://www4.tkc.pref.toyama.jp/eizou/>

